

## ばい煙発生施設の概要

発生施設の番号				
発生施設の種類		蒸気ボイラー		
名称及び型式		社製		
着工予定(設置)年月日		年 月 日		
使用開始予定年月日		年 月 日		
規 模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	13.4		
	焼却能力 (kg/時)			
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )			
	バーナーの燃料の燃焼能力 (kg/時)	75 kg/時		
	変圧器の定格容量 (kVA)			
使用時間及び使用日数等		8時から17時まで 8時間/回 1回/日 20日/月	時から 時まで 時間/回 回/日 日/月	
使用 の 状 況	季節変動	なし		
	原材料	種類		
		通常の使用量		
	燃料	種類	B重油	
		硫黄分 (%)	1.9	
		通常の使用量 (kg/日)	640	
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /時)	湿り	977		
	乾き	820		
排出ガス温度 ( )		250		
ばい 煙の 濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大 0.3 通常 0.2	最大 通常	
	硫酸化物 (容量比 ppm)	最大 42 通常 40	最大 通常	
施設から発生する廃棄物の種類及びその排出量		なし		

- 備考 1 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。  
 2 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。  
 3 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

## ばい煙の処理の方法

処理施設の番号						
処理に係る発生施設番号						
処理施設の種類		煙突				
名称及び型式		社製				
着工予定(設置)年月日		年 月 日				
使用開始予定年月日		年 月 日				
使用 状況	使用時間及び 使用日数等	8時から17時まで 8時間/回 1回/日 20日/月		時から	時まで	
	季節変動	なし		時間/回	回/日 日/月	
処 理 能 力	排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /時)	最大 977	通常 782	最大	通常	
	排出ガス温度( )	処理前 200	処理後 200	処理前	処理後	
	ばい 煙の 濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前 0.2	処理後 0.2	処理前	処理後
		硫酸化物 (容量比 ppm)	処理前 42	処理後 40	処理前	処理後
	ばい 煙量	硫酸化物 (Nm <sup>3</sup> /時)	最大	処理前	処理後 0.616	処理前
			最小	処理前	処理後	処理前
	補修 効率 (%)	ばいじん				
		硫酸化物				
	排出口の実高さ (m)		12 × 0.2			
補正された排出口 の高さ (m)		13.1				
排出ガス速度 (m/秒)		9.2				
捕集物質及び副生成物 の処理方法		なし				

備考 1 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

2 補正された排出口の高さは、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算出することとし、及びその算定明細書を添付すること。

3 ばい煙処理施設の構造概要図を添付すること。

4 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。